

標茶町議会第3回定例会

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を求める者	答弁内容
8番	深見 迪	1. 憩の家改修の進捗状況を聞く	<ul style="list-style-type: none"> 憩の家の補助金申請の締め切りが6月下旬と聞いていたが、補助内容、金額など、どのようになったのか聞く。町長は、このほか、国や北海道の補助や支援について考えはあるか。 基本設計書に基づく改修建設費の予算はいつ提出する考えか。町民からは、改修費が高すぎるとの声が今後の町財政も心配しながら出ている。手つかずの自然が最大の魅力であって、この様な高額な建物は必要ないと考えるがこの点について町長の所見を聞く。 改修にあたって、揚湯管、配管や飲用水等の水回りに必要な最低限の経費はどの程度か。また、飲用水は今まで町から運んでいたが、今後どのような考えでいるか。 「憩の家かや沼」施設に関する条例では、その目的として第一義的に「町民の健全な保養とレクリエーションの場を提供するとともに、地域観光の振興に資するため」と定められている。その点からいっても広く町民の意見を聞くことが必要であると考え。以前町長は、町民との懇談会を開く考えはないと態度を示したが、その考えは変わらないか。また、アンケートなど町民からとる考えはないか。 基本設計では、4人部屋5室、2人部屋6室となっているが、個室希望者も多いのではないか。町長の所見を伺う。 民間経営にし、令和2年秋口には決定するとしていたが、決定しているのか。 改修後の経営計画が全く見えてこないが、町としての具体的な考えを聞く。 	町長	
		2. 国の二次補正に盛り込まれた「慰労金」の速やかな給付を	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策として国の2次補正に医療従事者などへの「慰労金」が入っているが、その後、児童福祉施設等の職員への手当にも活用できることになった。名称は、「児童福祉施設等における新型コロナウイルス感染拡大対策に係る支援事業」で452億円が出ているがその通知は受けているか。 対象施設は、学童保育、保育所、児童養護施設等、子どもの生活・学習支援事業等及び産後ケア事業となっているが具体的に本町ではどのような施設か。 この様な施設に勤務する職員のいわゆるかかりまし経費等について、どのような内容を考えているか。 医療従事者、介護職員も該当すると考えるがどうか。 	町長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を求める者	答弁内容
		3. 今こそ少人数学級をすみやかに実施するよう求めるべきではないか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三密を避けるためにも現在の定数では実現が不可能である。今こそ安心・安全な少人数学級を速やかに実施するよう国に求めるべきではないか。 ・ 文部科学省は、コロナ禍の中、授業の遅れは2～3年かけて取り戻せばいいという指針を出した。しかし実態は、長期休業を短くする、行事を削る、家庭学習課題が多いなど子どもの全面的発達に逆行するような内容になっていると考えるが、この点について教育長の所見を伺いたい。また、児童生徒について、心のケアが必要な状況はないか。具体的な状況と対応について伺う。 	教育長	
9番	本多耕平	1. 中山間地域等直接支払制度の活動内容を問う	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中山間地域等直接支払制度は平成12年4月に制度が発足し、以来4期20年が経過し5期目に入り要領の一部が変更されたと聞く。この制度の要領趣旨にも提示されているが、中山間地域等では高齢化が進む中で平地に比べ自然的、経済的、社会的条件が不利な地域があることから、担い手の減少、荒廃地の増加等により多面的機能が低下し、国民全体にとって大きな経済損失が生じることが懸念されている。平成11年食料・農業・農村基本法により国は、中山間等において適切な農業生産活動が継続的に行われるよう農業の生産条件に関する不利を補正する支援を行うこと等により、多面的機能の確保を特に図るための施策を講ずるものとされている。これを踏まえ荒廃農地の増加等により多面的機能の低下が特に懸念されている中山間地域等において担い手の育成等による農業生産の維持を通じて多面的機能の確保する観点から国民への理解の下に交付金を交付するとある。本町においても全町が一つの集落として集落協定し、活動して令和元年度は交付金総額約3億7千万円、個人配分約1億6千万円、共同取り組みは2億1千万円であり活動内容は制度の趣旨に沿った一次産業を守り農村集落を守る、支える大きな交付金と私は考えます。農業者にとってこの交付金が平等ではないにしても公平感のある予算配分であることを望み次の点について町長の所見を伺う。 ① 制度発足20年の効果をどのように評価されているか。 ② 制度内での農業委員会の果たす役割と評価。 ③ 第三者機関の設置とあるが4期20年間で北海道から助言もしくは指導はあったか。 ④ 第5期の主な活動費内訳計画はどの様になっているか。 ⑤ 20年間の活動を踏まえ国・道への要請事項はなかったか。 	町長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を求める者	答弁内容
1番	渡邊定之	1. 新型コロナウイルス感染症から町民の命と健康を守る対策を	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症は、都市部での急拡大のみならず、その伝播は地方にまで広がる勢いであり極めて憂慮すべき事態となっているが、この様な事態についての町長の所見を伺う 町内医療施設、介護施設、福祉施設、保育園、幼稚園、学校など様々な予防の取り組みを行っているが、これだけではもう十分とは言えず、この様なリスクが高い施設に勤務する職員のPCR検査が必要と考えるがどうか 博物館など町外、道内外からの観光客も多いと思うがどのように対応しているか伺う。また、これまでの対応で不十分なところはないか伺う。 町民がやむを得ずPCR検査を要望した時に、どのような手順で行うか、それらの保健指導は行われているか伺う。また、この検査は高額であるため助成を考えるべきではないか。 無症状の陽性者が多いが、病院にかかる時検温だけでは不十分ではないか。仮に町立病院に陽性と疑われる方が来院した時に、町立病院は十分な体制をとっているか伺う。 	町長	
		2. コロナ禍における高齢者の健康づくりを工夫して推進を	<ul style="list-style-type: none"> 感染症の流行でとりわけ高齢者の運動不足による様々な弊害がマスク等を取り沙汰されている。本町で取り組まれてきた健康づくり教室においても活動に影響があると考えますが今後どのように対応するのか伺う。 保健福祉課、社会教育課との連携をとりながら健康の推進と運動の両立を図りながら進めるべきと考えるがどうか。 	町長	
		3. コロナ禍のもと新規就農対策の積極的推進を	<ul style="list-style-type: none"> 新規就農は本町の第一次産業の発展にとって大きな役割を果たしているが、クラスター事業等の推進により既存の生産者の規模拡大が進み、それに伴い、新規就農者の生産基盤となる建築物、家畜の頭数、トラクターなど機械代等経費が高額化している。 農地の確保等において競合する等の問題はないか。 新規就農者が負う負債は、これからの経営を成功させるには高額で極めて厳しい状況であると考えますが町長の所見を伺う。 新規就農を推進する本町としてこのような負債の根拠となる数値の出し方についてどのような知見を持っているか伺う。 	町長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を求める者	答弁内容
			<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規就農者を迎え入れることは人口減対策としても大きな役割を果たすと考える。コロナ感染症の経験から都市住民のなかに人間らしい働き方や暮らし方を農村の多面的な価値に求め移住を希望する人が増えている。今、地域に人口を分散させていく条件はあると考えるが町長の所見を伺う。 ・ さらに、地元の若い世代の新規就農を増やす方策も一層進めるべきではないかと考えるがどうか。 	町長	
4番	松下哲也	1. 合葬墓の建立に向けて検討されているか	<p>令和元年第3回定例会において合葬墓を建立してはという事について質問をした。答弁では、町として積極的に墓じまいを推進するものではないという事を基本にしながらも、『お墓の継承や管理に不安のある方々、経済的事情から永代供養等も難しい方々に対してあくまでも合祀という形であるならば、町で合葬墓を整備する意義はあるものと考えている』と答弁されている。</p> <p>また、地域墓地管理組合、宗教関係者と意見交換を図りながら建立の可能性について検討を深めていきたいとも答えられている。元年10月には合葬施設建設に関してアンケート調査が行われたが、その結果が発表されていない。アンケート集計後の結果、認識と今後も検討を重ねていくのか町長の所見を伺う。</p>	町長	
		2. 町職員の採用について	<p>広報しべちや8月号に令和3年度町職員保育士（正職員）の募集が掲載されていた。また、9月号には、令和2年度の会計年度任用職員の追加募集の一覧表が掲載されている。令和3年度の専門職（保育士、介護士、看護師）の採用について伺う。</p> <p>① 保育士については、待機児童が出ている中で、定年退職者と新規採用者とのバランスが取れている内容になっているか。</p> <p>② 定員100名の特養やすらぎ園は介護士の不足により受け入れが制限されている。6月定例会において同僚議員の総括質問でも出されているが介護士の補充にどう取り組むか。会計年度任用職員のままでいっても同じことの繰り返しではないか。正職員としての枠を設けるべきではないか。</p> <p>③ 来年度から小児科の医師が常駐体制になるが、それに伴い看護師の人員に不足は生じないのか。</p> <p>④ 会計年度任用職員として今まで募集してきているが、応募が少ないことに対しその原因等に対し町長はどう認識しているか。</p>	町長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を求める者	答弁内容
6番	鈴木裕美	1. 町財政の見通しについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町の人口ビジョン改定版と第2期標茶町創生総合戦略を策定し、広報5月号で町民に知らせたその中で、人口推移が示された。人口減少は財政にも影響を与え、税収も減少が見込まれるが、本町のこの先の財政状況について伺う。 ・ 現在、示されている財政状況は、令和7年で収支不足が生じることの試算だが、これから先10年位の財政状況の見通しについて伺う。また、町民には毎年4月の広報でその年の予算が示されているが、財政状況の見通しも示すべきと思うがいかがか伺う。 	町長	
		2. 憩の家かや沼の改修とかや沼地区の観光について	<p>憩の家かや沼の改修にあたっては、町民の多くの関心事です。これまで、会う町民全てが立派な物はいらない。町民がゆっくりとくつろげる場、施設を望んでいることは先の議会でも述べている。その後3,000万円の実施設設計費が可決されてから今日までも同様の声が寄せられている。6月9日の全員協議会では、まだいくつかの課題が示されていないので伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町長は憩の家かや沼をどのように考えているか。隈氏と原氏の考えで良いと考えているのか。どのような形にしたいのか伺う。 ・ 経営計画、方針を示してほしい。施設の運営については、引き受けた業者任せとの説明を受けたが、町は運営に全くかわりをもたないのか。 ・ 指定管理とした場合、指定管理料はどのくらいの金額を考えているのか伺う。 ・ 業者の選定はいつ頃となるのか。 ・ 6月定例会後、今日まで更に町民から声が寄せられている。かや沼は大きな可能性があると思っているが、その自然を求めて来る人たちは立派な建物は望んでいない。お金をかけるのなら、圧倒的に自然を知らせることが大切。標茶町は最高の自転車コースだ。人が動けるためのネットワークを考えて欲しい。また、海外に何度も行かれている方は自然の中には立派な建物は無い、経費をかけた建物にはメンテナンスにも、経費が掛かると言われた。町は建物だけでなく茅沼地区の観光も考えると述べていましたからどのような構想を持っているのか伺う。 	町長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を求める者	答弁内容
12番	後藤勲	1. 来年度以降の町内巡行バスの計画について	<ul style="list-style-type: none"> 試験運行から2年を経過し、やっと3年目という時にコロナウイルスによるいわば3密を避けるため、今年の運行を中止せざるを得ない状況になったが、来年度以降の運行をどうするか伺う。 また、町内には運転免許を返納する方も多く、非常に不便をしている為、早急に再開を望む声も多い。地域、特に磯分内地区には聞くところによっては日中週に1日だけ運行と聞いているが、毎日走らすことができないのか。さらに、この事により各地域から不満も出ると思うが、徐々に増やしていく考えはないか伺う。 	町長	
		2. 防災（特に水害対策）について町はどのように考えているのか	<ul style="list-style-type: none"> 近年、特に家屋、道路等に甚大な被害を及ぼしている水害により、その都度町民は避難を余儀なくされ、町職員も大変ご苦勞をされているが、これからも地球温暖化により、今以上の被害が出ると予想されています。標茶においては24時間雨量200mm以上の降雨が来た場合大変なことになることは火を見るより明らかであり、これから町民を守るため、今後どのような策を考えているのか。また、以前に質問した排水機場の話はどうなっているのか伺う。 	町長	
11番	鴻池智子	1. 災害時における避難所の感染対策、環境整備について	<ul style="list-style-type: none"> 最近では異常気象が常態化し、豪雨などの自然災害が頻発しています。標茶町でも3月に大雨による避難がありました。特に本年はコロナ禍という新たな事態への対応が必要になっています。本年6月に改正された新型コロナ感染症対策を盛り込んだ「北海道版避難所マニュアル」に則り、本町の避難所運営マニュアルを見直し、福祉避難所を含む指定避難所の環境整備が必要と思われます。そこで確認の意味も含め次のことを伺います。①本町の指定避難所で3密を防ぎながらの収容人数は何名となるか。②発熱の疑いのある人の専用スペースの確保はどうなっているか。③3密を防ぐために町民が独自で分散避難をした場合、その人達に対する救援物資については、どう考えているかを伺う。④今後は分散避難を定着させ「どこが安全なのかを各自で避難場所をあらかじめ決めておくことが大事になると考え、そのためにマイタイムラインの普及にも努めるべきと考えるが町としての考えを改めて伺う。 	町長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を求める者	答弁内容
2番	類瀬光信	1. 会計年度任用職員の待遇を改善し、必要な人員を確保すべき	<p>・ 町民の生命、そして、暮らしと権利を守る自治体の業務は、恒常的且つ継続的でなければならない。さらに、専門性も要求されることから、非正規職員が担うことを想定していない。しかし、全国の自治体では、行政コスト削減のため正規職員を非正規職員に置き換えてきた経過がある。正規職員との待遇面の格差を黙認したまま、多くの非正規職員に依存した自治体運営が常態化して来た。標茶町も例外ではないと思うが、実態はどうか。また、民間企業に対し、正規雇用を指導する立場として、是正すべき点がないのか問う。</p> <p>2017年に地方公務員法が改定され、本年4月から任期に定めのない常勤職員を中心とする公務運営の原則が崩れている実態を追認し、固定化する「会計年度任用職員」制度が導入された。本町では、制度の概要説明に前後して非正規職員の「見切り離職」が進み、「やすらぎ園」、「保育園」、「育成牧場」などで深刻な人員不足が生じている。それぞれの現場では、この事態にどう対処しているのか。町民への影響はないのか。町民の安心、安全な暮らし実現するためには、適正な職員数の確保が絶対条件ではないのか。人員不足解消にどのような対策を講じ、具体的にいつ解消する見込みか。現行会計年度任用職員に特殊勤務手当を支給し、正規職員との給与格差を是正することで、会計年度任用職員の定着と選択を誘引するべきではないか。町長の所見を伺う。</p>	町長	
		2. 憩の家に関する町長の責任について	<p>標茶町が株式会社標茶町観光開発公社に対して貸し付けた3,000万円について、償還できなかった場合の責任は町長、副町長、観光開発公社社長がとると明言している。前町長の発言ではあるが、町として責任の所在を明らかにしたものである。観光開発公社の倒産により、3,000万円が回収不能となった今、当然現町長が責任をとるべきだが、どのような形を考えているか。</p> <p>また、憩の家の営業停止についても、同様に町長に責任がある。今後、どのような形で責任をとるつもりか伺う。</p>	町長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を求める者	答弁内容
3番	長尾式宮	1. 人口減少対策・地域振興のため新築住宅補助を	<p>現在コロナウイルス感染拡大に伴い、全国的に経済の停滞が不安視されている最中である。標茶町においても例外とはならず各種イベントの中止、消費の落ち込みなどが町内経済に悪影響を及ぼしている。町では給付金等の活用で対応にあつたところであるが、地域振興の観点からも以下の質問をする。</p> <p>2018年時点、道内179市町村で新築住宅補助を行っているところは100万円以上が88自治体。200万円以上にしぼっても59自治体と3割程度ある。補助の趣旨としては少子高齢化対策の一環として移住者や若者世代の定住促進を主な目的とするところが多い。また補助の条件として地産材の使用や地元工務店との請負契約が前提として含まれるケースが多い。</p> <p>釧路管内で補助を設定しているのは新築に限っても厚岸町新築住宅支援事業、浜中町安心住まいる促進事業、弟子屈町住宅建設促進事業、鶴居村地域住宅振興対策支援補助事業、鶴居村輝く住ま居る支援金、白糠町太陽の町定住奨励助成事業があげられる。</p> <p>関係団体に聞き取りをしたところ、管内でも地元企業限定の補助であることが多く、広域で営業をするにあたり品質以外の部分で不利になるばかりでなく、制度を設けていない標茶町が草刈り場となっているとの話を聞く。</p> <p>標茶町においても少子高齢化・人口減少対策は喫緊の課題であり、また地域産業の振興の観点からも新築住宅補助は必要な制度と考えるが町長の所見を伺う。</p>	町長	
		2. やすらぎ園の人材不足早期解消を	<p>令和元年8月、11月に厚生文教委員会の所管事務調査で特別養護老人ホームやすらぎ園の調査が行われた。昨年の時点での入園者数、施設の老朽化、人材の不足、今後の方針が報告されている。</p> <p>現在でも人材不足は解消されておらず、会計年度任用職員が10名募集されていると聞いている。慢性的な人材不足はスタッフに大きな負荷がかかり、思わぬ事故やさらなる人材不足へと負のスパイラルに陥る危険性が懸念される。町民からは待機</p>	町長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を求める者	答弁内容
			<p>者が約100名いる現状で今後もやすらぎ園が今まで同様の運営ができるのかと不安の声が上がっている。</p> <p>また、委員会報告では施設の老朽化にともない暖房設備や給排水設備に不具合があり、介護施設として基本的な機能に不安があると指摘されている。施設の老朽化も人材不足の職場環境においては大きな負担になっていると考える。</p> <p>施設の改修には詳しい調査と予算の問題もあり時間が必要と理解しているが、人材確保に関しては早急な対応策が必要と考える。現在ハローワークを通じて募集をかけていると聞いているが、介護求人サイトやIターンUターンフェア等の場での募集を検討してみてもと考える。</p> <p>また、全国的人材不足である状況で人材確保をするためには待遇の改善も一手段と考えられるが町長の所見を伺う。</p>		